

ぐんまけんちいきじゅうたくとうせいびけいかく
群馬県地域住宅等整備計画

ちいきじゅうたくけいかく ぐんまちいき き じゅうてんけいかく
(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)

まえばしし たてばやしし
前橋市、館林市

令和 7年1月 (当初)

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

計画の名称	群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和7年度 ~ 令和11年度 (5年間)	交付対象	前橋市、館林市		
計画の目標	<p>1. 多様な県民の居住ニーズに応える住まい・まちづくり 子育て世帯から高齢者世帯まで全てのライフステージにおける居住ニーズ、ニューノーマルやDXをはじめとした新たな潮流に係る居住ニーズなど、多様な県民の居住ニーズに応えることができる多種多様な住宅の供給や仕組みづくりを目指す。</p> <p>2. 誰一人取り残さない安全・安心の住まい・まちづくり 災害に対して危険に晒されている住宅に住む県民や、所得や世帯構成、国籍などを理由に住宅に困る県民がいないなど、安全・安心という面で誰一人取り残さない住環境の形成や支援体制の構築を目指す。</p> <p>3. 自立分散型の社会に対応した幸福を実感できる住まい・まちづくり 持続可能な自立分散型の地域社会への転換を図り、CO2排出量の削減や空き家対策など住環境に対する課題を解決すると共に、良質な住宅ストックの形成により、住宅や地域への愛着を育み、幸福を実感できる「ぐんま」らしい住宅の普及を目指す。</p>				
計画の成果目標(定量的指標)	<p>①前橋市の該当建替地区内において学生や子育て世帯などを取り込み、様々な年代の世帯が混在した、コミュニティの活性化がなされた団地を形成する。</p> <p>②館林市に子育て世帯向け地域優良賃貸住宅を5棟建設し子育て世帯の割合を維持する。</p>				

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (R7.3)	中間目標値	最終目標値 (R12.3)	
①前橋市の該当建替地区内において、18歳以上の学生から子育てを行っている概ね30歳代の者を世帯主とする世帯の割合を増加させる。 該当建替地区内において、18歳以上の学生から概ね30歳代の者を世帯主とする世帯の割合(率) = (18歳以上の学生から概ね30歳代の者を世帯主とする世帯数) / (該当建替地区内の世帯数)	0%	-	8%	※中間目標は任意 個別施設計画を含むー 国土強靱化を含むー 定住自立圏を含むー 連携中核都市圏を含むー 流域水循環計画を含むー 地域再生計画を含むー
②館林市に子育て世帯向け地域優良賃貸住宅を整備することにより、定住を促進させ団地内の子育て世帯(年少人口0~14歳)の割合を維持する。 団地内の子育て世帯の割合(率) = (団地内の子育て世帯数) / (団地内の世帯数)	13%	-	13%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,303.百万円	A	3,233.百万円	B	0	C	70.百万円	D	.百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	2.1%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	---	--------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業)																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11								
別紙のとおり													A1 小計					3,233			

A2 基幹事業(地域住宅計画に基づく事業以外の事業)																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11								
別紙のとおり													A2 小計					0			
													A 合計					3,233			

A 基幹事業(合計)

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11								
別紙のとおり													合計					0			

C1 効果促進事業(地域住宅計画に基づく事業)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11						
別紙のとおり													C1 小計					70	

C2 効果促進事業(地域住宅計画に基づく事業以外の事業)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考				
									R7	R8	R9	R10	R11						
別紙のとおり													C2 小計					0	

C 効果促進事業(合計)

番号	一体的に実施することにより期待される効果												C 合計					70		備考
別紙のとおり													合計					0		備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考					
									R7	R8	R9	R10	R11							
別紙のとおり													合計					0		備考
別紙のとおり													合計					0		備考

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和 7年1月

計画の名称	群馬県地域住宅等整備計画（地域住宅計画 群馬地域（5期））（重点計画）		重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度（5年間）	交付対象	前橋市、館林市	
計画の目標	<p>1. 多様な県民の居住ニーズに応える住まい・まちづくり 子育て世帯から高齢者世帯まで全てのライフステージにおける居住ニーズ、ニューノーマルやDXをはじめとした新たな潮流に係る居住ニーズなど、多様な県民の居住ニーズに応えることができる多種多様な住宅の供給や仕組みづくりを目指す。</p> <p>2. 誰一人取り残さない安全・安心の住まい・まちづくり 災害に対して危険に晒されている住宅に住む県民や、所得や世帯構成、国籍などを理由に住宅に困る県民がいないなど、安全・安心という面で誰一人取り残さない住環境の形成や支援体制の構築を目指す。</p> <p>3. 自立分散型の社会に対応した幸福を実感できる住まい・まちづくり 持続可能な自立分散型の地域社会への転換を図り、CO2排出量の削減や空き家対策など住環境に対する課題を解決すると共に、良質な住宅ストックの形成により、住宅や地域への愛着を育み、幸福を実感できる「ぐんま」らしい住宅の普及を目指す。</p>			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R7	R8	R9	R10	R11
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 令和7年度以降の各年度の決算額を記載。

整備計画	交付対象事業	基幹事業		事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業 費 (百万 円)	費用便益 比	個別施設計画 策定状況	一体的に実施することにより期待できる効果 ※効果促進事業の場合	備考
		(大)	(小)									R7	R8	R9	R10	R11					
群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)	A 基幹事業	地域住宅計画に基づく事業	地域住宅計画に基づく事業	住宅	一般	前橋市	直接	前橋市	公営住宅等整備事業(広瀬第三、六、七、二十団地)	PF11による建替 192戸→70戸	前橋市	●	●	●	●	●	3027	0.93	-		
群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)	A 基幹事業	地域住宅計画に基づく事業	地域住宅計画に基づく事業	住宅	一般	前橋市	直接	前橋市	公営住宅等整備事業(広瀬第三、六、七、二十団地)	建替えに伴う埋蔵文化財調査 15,830㎡	前橋市	●	●				90	-	-		
群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)	C 効果促進事業	地域住宅計画に基づく事業	地域住宅計画に基づく事業	住宅	一般	前橋市	直接	前橋市	公営住宅等整備事業(広瀬第一、第四団地)	建替えに伴う入居者仮移転部屋の整備 65戸	前橋市	●	●				70	-	-	取壊しに伴う現入居者の退去を円滑に行う事ができる。	
群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)	A 基幹事業	地域住宅計画に基づく事業	地域住宅計画に基づく事業	住宅	一般	館林市	直接	館林市	地域優良賃貸住宅整備事業	PF11による新築	館林市		●	●	●		116	1.69	-		

社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅計画に基づく事業等タイプ)

計画の名称:群馬県地域住宅等整備計画(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)

地域住宅計画の名称:(地域住宅計画 群馬地域(5期))(重点計画)

地方公共団体名:前橋市、館林市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が基本方針と適合している。	○
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
④関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
⑤緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 ① 安全面、衛生面等の居住環境の改善 イ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 ウ まちなか居住の推進 ② 地方定住の推進 エ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
⑥数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③地域住宅計画を公表することとしている。	○
④地域住宅協議会等、関係地方公共団体等の意見調整の場が設けられている。	○